

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分  
 例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)  
 TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005  
 E-mail:rc-8man@abeam.ocn.ne.jp  
 URL:http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 水上成樹  
 副 会 長 : 平岩憲政  
 幹 事 : 野田三津雄  
 公共イメージ : 西川 昇  
 会報担当者 : 大川達也

2022 年度国際ロータリー会長：ジェニファー・ジョーンズ(ウイザー・ローズランド・ロータリークラブ・カナダ)  
 2022 年度国際ロータリーテーマ：IMAZINE ROTARY(想像してください。私たちがベストを尽くせる世界を)

**<本日のプログラム>**  
 第 2799 回 令和 4 年 12 月 23 日 第 4 金曜日  
 忘年例会 ホテル郡上八幡にて

**<次回の予定>**  
 第 2802 回 令和 5 年 1 月 12 日 第 2 木曜日  
 新年互礼会

**<前回の記録>**  
 第 2798 回 令和 4 年 12 月 15 日 木曜日  
 会員卓話 國田大雄会員  
 長尾信幸会員

司 会 進 行	大川達也副 SAA
点 鐘	水上成樹会長
ソ ン グ	それこそロータリー
出 席 報 告	長尾信幸出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
34 名	21 名	8 名	29 名	85.3%

**ニコBOX** 可児一彦ニコBOX 担当責任者

- ・ 國田君、長尾君 卓話楽しみにしています。  
水上成樹
- ・ 本日の会員卓話、國田君、長尾君宜しくお願ひします。  
野田三津雄
- ・ 父の葬儀のお手伝い等お世話になり、ありがとうございました。  
松本英樹
- ・ 本日は卓話です。宜しくお願ひ致します。  
國田大雄
- ・ 卓話お願ひします。  
長尾信幸
- ・ 國田君、長尾君 卓話宜しくお願ひします。  
平岩憲政・可児一彦・河合 修・松森 薫  
三原慎也・森下 光・村井裕孝・村土時男  
永瀬和郎・西川 昇・西村 肇・小笠原正道  
大川達也・酒井智義・霜野賢一・竹内巧治

**幹事報告** 野田三津雄幹事

- ・ ガバナー事務所よりメルボルン国際大会登録料割引期限内のご登録のお願い
- ・ ガバナー事務所よりメルボルン国際大会・日本人親睦朝食会のご案内

- ・ ガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所より年末年始休暇のお知らせ
  - ・ 比国育英会バギオ基金より事業報告書と寄付のお願い
- <拝受>
- ・ 米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」273 号
  - ・ 郡上市より「広報 郡上」12 月号

**IDM 報告** 村井裕孝会員



テーマは社会奉仕でした。村土会員から今までの社会奉仕のことなど教えて頂き、大変分かりやすかったです。ありがとうございました。

**会長の時間** 水上成樹会長



皆さん、こんにちは。来週、忘年例会を行います。郡上市のコロナ感染者が 80 名、岐阜県では 4,000 人を超すという状況になっています。以前理事会で、郡上市の感染者が 100 人を超えたら例会を中止にするというのを決めていました。このままだと 100 人を超えるかもしれないのでどうするか相談をしまして、忘年例会については開催したいと思っています。皆さん、感染防止対策を十分行ってご参加下さいようお願い致します。

それから、先週新入会員の推薦が 2 名ありましたが、お知らせから 1 週間経ちましたので、推薦者の方はお話を進めて頂くようお願い致します。



本日卓話ということで、たくさんのニコ BOX 投函ありがとうございます。

今回紹介したいのはピカソです。

先月たまたま東京へ出張することがありまして、ちょうどピカソ展がやっておりました。コロナになってからはなかなか行けなかったのが、久しぶりにこういった本物の作品を見ることができて嬉しかったです。ピカソは、通常パブロ・ピカソで通っていますが、下に細かく並んでいるのがピカソの本名です。

## パブロ・ピカソ

パブロ・ディエゴ・ホセ・フランシスコ・  
デ・パウラ・ホアン・ネボムセーノ・マリーア・  
デ・ロス・レメディオス・クリスピン・  
クリスピアーノ・デ・ラ・サンディシマ・  
トリニダード・ルイス・イ・ピカソ

とても長いので最初と最後を繋げてパブロ・ピカソと通常は呼んでいますが、本名はとても長いと覚えておいて下さい。ピカソといえど 20 世紀最大の巨匠と言われるくらい多くの方が知ってみえると思いますが、独特の画風というのもその理由の一つだと思います。上野公園に 4 つの美術館がありますが、今回ピカソ展をやっていたのが国立西洋美術館で、時間を取って観てきました。上野公園の他にも東京都美術館とか大きな美術館がありますが、これだけまとまった所にあるのも珍しいと思うので、もし皆さんも上野とか行く機会があれば一度訪れてみて下さい。それで、そこでやっていたのが「ピカソとその時代」というテーマで、ベルリン国立ベルクグリーン美術館が所蔵している作品が今回展示してありました。この美術館は、ドイツ生まれの美術商ハインツ・ベルクグリーンという人が、個人で集めた作品の美術館になっています。この方はパリで画廊を運営していたのですが、これから芽が出そうな画家の絵を早めに入れて、自分のコレクションにしていました。その中には、かなり有名な方の作品もあります。最終的にはドイツ政府が購入して、今やっています。この時代の、ピカソをはじめとしてパウル・クレーとかアンリ・マティス、ジャコメッティなどの作品を多く集めています。今回 97 点の作品があり、日本からの 11 点と合わせて 108 点の作品が展示されています。日本で初めて公開されている作品もありますので、機会があれば行って頂けると紹介した甲斐があります。ピカソ自身は、独創性とカリスマ性を持ち合わせた人で、生涯少しずつ画風が変わっていったことでも有名です。

「ピカドール」という作品は、ピカソが 9 歳の時、最初に描いたとされています。その年齢で描いたとは思えないような絵で、やはりその頃から天才ぶりをうかがわせていたんだなと思います。ピカ

ソは、ギネスブックに載っているくらい作品数が多くて、生涯で 13,500 点の油絵と素描を描いていますし、10 万点くらいの版画、3,400 点の挿絵、300 点ほどの彫刻と陶器を製作しています。作品の数からいっても、人生のほとんどを作品の製作に費やしていると推測されます。それから、生きていたうちにルーブル美術館に作品が展示されました。普通は亡くなってから展示されるのですが、ピカソは生きていたうちから展示された最初の画家でもありました。そのことも、なかなかできることではありません。あと有名なのが、一枚の絵の入札額に 118 億円の値がついたこともピカソを有名にしたことの一つだと思います。次の「科学と慈愛」という絵は、ピカソが有名になる前の作品です。父親が美術教師をやっていて、その影響と指導を受けて描いた絵になります。この絵が最初に国展で佳作に入ったり、地元の展示会で金賞を受賞したりして、ピカソを有名にした最初の作品となっています。先程言いましたが、ピカソは少しずつ画風が変わっていくのですが、「青の時代」と言われる時期があります。19 歳の時に親友が亡くなって、かなり精神的に落ち込んでしまった時代で、青を基調として不安とか孤独感を感じるような絵を描いていました。この時に描いた有名な自画像があります。次が「バラ色の時代」で、この作品は「パイプを持つ少年」というタイトルです。この頃からピカソも恋人ができたりして少しずつ気分が晴れてきて、色使いが先程と変わってきています。先程言った、史上最高額の 118 億円で落札されたのがこの絵になります。次が「アフリカ彫刻時代」です。この作品が「アビニョンの娘たち」で、20 代後半に描かれた作品です。この頃から、アフリカ彫刻とかイベリア彫刻の影響を受けた作風が変わっていききました。その次が「キュビズムの時代」で、この頃から少しずつピカソらしさが出てきました。これは「素人闘牛士」という作品ですが、キュビズムというのは線と点を再構築してできる本質を表現するという意味があります。視点を変えてパーツを取り込むやり方になっているので、自分の中でかなりイメージが膨らんでいるのかなと思われる作品になっています。この時代が一つの分岐点になっているところもあるので、ここから更に影響が出てきます。次が「新古典主義の時代」で、「海辺を走る二人の女」という作品です。第二次世界大戦が終わったくらいの時代で、新古典主義とキュビズムを組み合わせた、実写的なものやデフォルメされた作品を混ぜ合わせていった作品になっています。次が「シュルレアリスムの時代」で、また作品が少しずつ変わってきています。これは「三人の踊り子」という作品で、夢と現実が矛盾した状態を表現しています。それぞれの時代で表現が変わっていくのが、今を見ても分かって頂けると思います。この時代に有名な作品「ゲルニカ」があります。ゲルニ

カというのはスペインにある町の名前で、1937年にナチス軍がゲルニカを無差別爆撃した出来事を表現した作品です。この時に更に描いた絵が「泣く女」です。この辺りの作品になると、見た人がピカソと分かるかなと思います。先程言った、ある視点から見た一部分を、少しずつ繋ぎ合わせていくような作品になってきているので、こういった顔の形になっています。頭の中で色々考えて、描きながら立ち位置を変えているのかなと思います。ピカソも60代の年配になってくると、ピカソ自体も衰退していったので、今までのを掛け合わせていくような作品が増えていきました。

今回、ピカソという有名な画家をご紹介させて頂きました。最近の美術館も変わってきていて、この間は写真撮影OKというのにビックリして、コロナ前はこんなことでできていたかなと思いました。最初はどうなんだろうと思いましたが、周りも写真を撮っていて、静かなイメージの美術館にやたらシャッター音だけがしているので不思議な感じがしました。自分も撮ったピカソの絵を携帯の待ち受けにしていますが、こういうことが普通にできる時代になってきたんだなと思いました。このピカソ展は来年1月22日まで西洋美術館でやっていますし、次は大阪の国立国際美術館で2月4日から5月21日まで開催されますので、もし機会があれば行って下さい。ありがとうございました。

## 会 員 卓 話 長尾信幸会員



本日の卓話ですが、タイトルが「日本百名山」です。私は大学時代、山岳部に所属していて、その時に登った山を紹介しようと思います。

まず、「日本百名山」とは何かです。日本百名山とは、日本の小説家であり登山家でもある深田久弥氏の山岳随筆「日本百名山」に載っている100座の山のことを指します。深田氏は、50年近い登山歴の経験から多くのことを比較検討したうえで、日本百名山を定めました。その際に、次の三つの基準で選定をしました。

1. 山の品格：誰が見ても立派な山だと感嘆する
2. 山の歴史：昔から人間と深い関わりを持つ
3. 個性のある山：形体、現象、伝統など、その山独自のものがある

皆さん、日本アルプスを聞いたことがあると思いますが、日本アルプスは北アルプス、中央アルプス、南アルプスの3つの山脈に分かれています。これらで私が登った山のお話をさせていただきます。

まずは北アルプスですが、郡上からも近いので皆さんもよく知っていると思います。こちらで有名な山というと、槍ヶ岳とか穂高岳かなと思いますが、北アルプスで代表的な山というと劔岳です。この劔岳が、今日本にある山で体

力とか技術などをトータルすると一番難易度が高い山ではないかと言われています。私が大学時代に約1週間かけて縦走した時の山を紹介します。縦走とは、山頂に立った後に下山せずにそのまま次の山に向かうことを言います。尾根伝いに幾つかの山頂を歩くのが基本です。

### 縦走工程

- 1日目：電車で登山口付近に移動
- 2日目：白馬大雪渓→白馬山荘
- 3日間：白馬岳→杓子岳→不帰キレット→唐松岳→唐松山荘
- 4日間：五竜岳→鹿島槍ヶ岳→冷池小屋
- 5日目：爺ヶ岳→新越小屋
- 6日目：針ノ木岳→針ノ木小屋
- 7日目：下山

この時に登った山を紹介します。まずは白馬岳です。標高2,932mの山で、東側の谷筋には冬季の膨大な積雪と周囲の山から起きた雪崩が集積した日本最大の雪渓があります。夏でも残っていたりして、白馬大雪渓は有名かなと思います。次に行ったのが五竜岳です。この山は男性的な山容で、日本三大キレット(崖)の一つである八峰キレットが特徴です。次が鹿島槍ヶ岳です。山頂が南と北に二つある双耳峰が特徴の山です。次が南アルプスです。南アルプスの特徴は、標高が高く、南ということもあり積雪が少なく、冬登山の初心者には向いている山です。ここも先程と一緒に、一度登ったら下りるのがもったいないので一週間くらい縦走をします。ここで有名なのが北岳です。富士山に次ぐ日本第二の高峰で、火山ではない山としては日本で最も高い山です。次が間ノ岳で、日本で四番目に高い山です。次が塩見岳で、山頂が双耳峰で西と東に分かれています。次が悪沢岳で、正式名称は東岳と言われています。前岳、中岳と合わせて荒川三山と呼ばれています。次が赤石岳ですが、登山口へのアプローチが非常に難しい山です。南アルプスの上の方にあるのが仙丈ヶ岳で、「南アルプスの女王」と言われています。鎖場などの危険個所がないため、登山初心者向けのコースと言えます。次に中央アルプスです。ここで登った山が木曾駒ヶ岳です。日本一の高低差を誇るロープウェイで上がるので初心者の方でも楽しむことができる山です。次が空木岳です。花崗岩の大きな岩が乱立し、巨石がたくさんあるのが特徴です。

今日はアルプスを中心にお話をさせて頂きました。最後に、ジョージ・マロニーという有名な方がいますが、「なぜ山に登るのか」という問いに「そこに山があるからだ」と言ったそうです。この言葉を哲学的に捉えれば、「山は人生に似ている。目先の小さな目的に捕らわれず、その山の頂上を目指し、ただ一生懸命登ればいい。」という意味だそうです。今は登山をしなくなりましたが、何をするにも「頂点を目指す」これを心掛けています。ありがとうございました。